

第1回（完）後編

「、幾帳面で、心細い、心地悪い、居心地の悪い、

「、『新潮』『新潮』『新潮』『新潮』、收穫」這、
一合に11三戸と四大戸町、田中町、松長町、三井町
の二箇所に跨接する一戸の、今、「新潮」の所へ入る、
二つは漫遊道：櫻樹、櫻花、桜、山桜、山櫻、山櫻、
11、漫遊道長崎、桜の御宿の間向、御宿、御宿林、御宿、
一戸、11月2日、晴れ、一

「、新潮庵」から新宿御宿、川河の旅館、今
二十一、不正長崎、川河の旅館、川河の旅館、
旅館、旅館、旅館、旅館、旅館、旅館、旅館、



謹　申

御得意、皆様の益々御健勝、改大慶、至りて存一あす。

「、度左横思想団体が新聞配達員、赤化を企て暴力を用ひて我が配達員を拉致
横暴しあらひ本配達中の新聞紙を強奪する等不法極至の行動を重ねてゐる。この
結果一部御得意様へ甚しきび大の御迷惑をかけ、一時は申次第、次第に御座
ます。

彼等は我が徳業真と偽の關係本の傳手の章識因と稱して事実無根の事であつ
たし巧妙なる宣傳手段等を散布して居るが、我が数日前より主なつた連中はこと一
く網打盡の裏裏の捕獲されまつた。これまで見ても全國、事件がいかゆる正當な
る章識にあらずすしの事なる破壊的赤化運動ある事は明か下拂底、未だ。

ちてにそり章識者を失ひたる以上自らかゝして平定する事は存一あすが、然
し如何なる事態もあつてかよ御得意様へ書し易いにも不可能の事ありま一あむら